

平成25年度 神奈川県認知症介護実践者研修(第4回)日程表 (カリキュラム内容、研修会場は変更する場合があります。)

| 日 程 | 時 間 | 形 態 | 単元名 | ねらい | 講師名 | 会 場 |
|------------------|---------------------------|---------------|--|---|-------------------------------------|---|
| 1月27日(月) | 9:00～10:00 | | ・開講式・オリエンテーション | | | 神奈川県認知症介護指導者 |
| | 10:00～11:00 | 講義 | ・認知症介護実践者研修のねらい | ・研修の目的と目標を示し、それに沿って研修カリキュラムがどのように組み立てられているかを理解し受講生の方向性を明確にする。加えて、研修の機会を、研修生のストレス緩和の場、情報交換ネットワーク作りの場に活用する。 | 神奈川県認知症介護指導者 | |
| | 10:40～12:10 | 講義 ＋ 演習 | ・コミュニケーションの本質と方法 | ・高齢者だけではなく、家族や他の援助者等のコミュニケーションに際して、コミュニケーションの本質(意義・目的とすること)を理解し、その上で実践で活用できる技法の基本を理解する。 | 神奈川県認知症介護指導者 | |
| | 13:00～16:30 | 講義 ＋ 演習 | ・新しい認知症介護の理念の構築 | ・高齢者の能力に応じて自立した生活を保障するために求められる介護理念を、グループワークを通して検討し、自分の言葉で構築することを目指す。その際に、先進的な事例を複数例示し、抽象的にならず具体的に検討する。 | 神奈川県認知症介護指導者 | |
| | 16:30～16:45 | － | レビュー ～1日のふりかえり～ | | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) | |
| 1月28日(火) | 9:30～12:30 | 講義 ＋ 演習 | ・家族の理解・高齢者との関係理解 ・援助者の位置づけと人間関係論 | ・家族介護者のみではなく、他の家族を含めた家族の理解と高齢者と家族の関係をを通して認知症介護から生じる家庭内の様々な問題や課題を理解し、家族への支援の重要性の理解を深める。 ・高齢者、家族、その他の援助者、地域住民等との対人関係のとり方を理解し、援助者に求められる位置づけとあり方の理解を深める。 | 認知症の人と家族の会 神奈川県支部 | 東海大学医学部神経内科 准教授 認知症医療疾患センター センター長 高橋 若生 氏 |
| | 13:30～16:30 | 講義 | ・医学的理解 ・心理的理解 | ・医学的理解が認知症介護を行うにあたって必要なことを理解する。医学面から本人の生活に及ぼす影響を示し、生活障害としての理解を深める。 ・認知症によって高齢者の心理にどのような変化が生じ、それが生活面にどのような影響を与えるかを学び、認知症高齢者の心理面の理解を深めること。高齢者への周囲の不適切な対応、不適切な環境が及ぼす心理面の影響の内容を理解する。 | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) | |
| | 16:30～16:45 | － | レビュー ～1日のふりかえり～ | | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) | |
| 1月30日(木) | 9:30～12:30 | 講義 ＋ 演習 | ・生活の質の保障とリスクマネジメント ・意思決定支援と権利擁護 | ・認知症により、日常生活の中で制限されてしまう個人の自由や意志決定が本来どのように保証されるべきかを理解する。 ・認知症を抱えたことで生じる生活上の困難は、本人の生活の質の低下のみならず、事故の危険性も高めることを知る。 | 神奈川県認知症介護指導者 | ザ・ウィングス海老名 〒243-0432 海老名市中央1-17-10 |
| | 13:30～16:30 | 講義 ＋ 演習 | ・生活支援の方法 ・生活の捉え方 | ・認知症高齢者が、様々な人的・物的・社会的環境の中で生活していくことをどのように支援していくべきかを理解し、事例演習を通して、その方法を考える。 ・医学的理解、心理学的理解を受けて、認知症という障害を抱えた中で自立した生活を送ることの意味と、それを支援することの重要性を学ぶ。 | 神奈川県認知症介護指導者 | |
| | 16:30～16:45 | － | レビュー ～1日のふりかえり～ | | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) | |
| 1月31日(金) | 9:30～12:30 13:30～16:30 | 講義 ＋ 演習 | ・認知症高齢者の理解に基づいた生活のアセスメントと支援 ・認知症高齢者の理解に基づいた生活のアセスメントと支援事例演習 | ・「医学的理解」から「生活の質の保障とリスクマネジメント」の講義を基に、高齢者が、自分の能力に応じて自立した生活を送るための支援として必要な、認知症介護のアセスメントと生活支援の基本的な考え方の理解を深める。 ・事例を用いて、個人への支援にあったアセスメントと生活支援の方法の基本を理解する。 | 神奈川県認知症介護指導者 | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) |
| | 16:30～16:45 | － | レビュー ～1日のふりかえり～ | | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) | |
| 2月4日(火) | 9:30～12:30 13:30～16:30 | 講義 ＋ 演習 | ・人的環境と居住環境を考える ・地域社会環境を考える ・生活環境を考える演習 | ・認知症高齢者を取り巻く人間関係としての人的環境と住まいを中心とした住居環境の理解を深め、ふたつの環境の持つ意味を考え援助者として環境に働きかける重要性を理解する。 ・人的環境と居住環境を取り巻く地域社会、社会制度などの地域社会環境の理解を深め、その環境の持つ意味を考え援助者として環境に働きかける重要性を理解する。 ・「人的環境と居住環境を考える」、「地域社会環境を考える」を踏まえて、事例を通して具体的に介護における環境のあり方の理解を深め、環境へのかかわり方を考える。 | 神奈川県認知症介護指導者 | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) |
| | 16:30～16:45 | － | レビュー ～1日のふりかえり～ | | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) | |
| 2月5日(水) | 9:30～12:30 13:30～16:30 | 講義 ＋ 演習 | ・実習課題設定 | ・本研修の目的に基づき、講義演習の受講を踏まえ、研修成果を実践で活用できる知識・技術にするための実習課題を設定する。また、実習にあたり留意事項の確認を行なう。 (研修の企画、進行、まとめを通して自己の思いや結果を文章化する手法の基礎を学ぶ。) | 神奈川県認知症介護指導者 | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) |
| | 16:30～16:45 | － | レビュー ～1日のふりかえり～ | | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) | |
| 2月6日(木)～3月24日(月) | | 実習 | 職場実習4週間(うち1日は他施設実習) | | | |
| 3月25日(火) | 9:30～12:30 13:30～16:00 | 演習 | ・実習結果報告のまとめ | ・各自が設定した課題の実行過程を振り返り、他者へ報告することで、自らの職場研修を評価し、また、他者の職場研修の取り組みを共有することで、今後の認知症介護に活かす視点を持つことができる。 | 神奈川県認知症介護指導者 | ザ・ウィングス海老名 〒243-0432 海老名市中央1-17-10 |
| | 16:00～16:30 | | ・修了式 | | | |
| | 16:30～16:45 | － | レビュー ～1日のふりかえり～ | | 神奈川県社会福祉事業団研修センター (神奈川県認知症介護指導者) | |